重複

テーブルから、指定したフィールドの値が重複しているレコードを探し出す

◇機能

《重複》は、開いているテーブルから、「重複検査フィールド」の値が同じレコードが2件以上あるもの（重複しているレコード）を探し出す機能です。結果は、画面に表示するか、新しいテーブルとして保存できます。元のテーブルは変更されません。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	2
2024/05/25	C03	500	1
2024/06/15	B02	800	5
2024/06/20	A01	1000	1



重複の結果（重複検査フィールド：商品No、出力フィールド：売上日、数量）

商品No	売上日	数量
A01	2024/04/10	4
A01	2024/05/20	2
A01	2024/06/20	1
B02	2024/04/12	3
B02	2024/06/15	5

※値が1件しかないレコード（例の「C03」）は、結果に含まれません。

※結果は「重複検査フィールド」の値の昇順に並びます。同じ値のレコードは、元のテーブルの順のままです。

※文字の比較では、大文字・小文字、全角・半角、前後の空白が区別されます（例：「A01」と「a01」「Ａ０１」「A01 」は別の値です）。

※空欄どうしは、同じ値とみなされます。数値は値で比較されます（例：「200」と「200.00」は同じ値です）。日付は日付で比較されます。

◇メニュー

《分析》-《重複》

※テーブルを開いている場合に使用できます。開いているテーブルが重複を探すテーブルになります。

※テーブルの画面で条件式を設定している場合は、その条件式が「条件式」に入力された状態で開きます。

※テーブルの画面で列（フィールド）を選択してから《重複》をクリックすると、この画面は開かずに、選択した列を「重複検査フィールド」としてすぐに実行され、結果が画面に表示されます（重複する値ごとに1行。「◇重複の結果」参照）。

※操作ログから重複のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで重複のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※「重複検査フィールド」「出力フィールド」は、コマンドに記述された順に選択されます。

※テーブルにないフィールドは選択されません。

※「グループの追加」、条件式、「出力先」は、コマンドのとおりに設定されます。テーブルの画面の条件式は使用されません。

※テーブルに保存したコマンドの場合は、保存先に「04_table」フォルダからの「フォルダ名¥テーブル名.hdf5」が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 元のテーブル　：重複を探すテーブルの、フォルダ名とテーブル名が表示されます。

2. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、フィールドをまとめて選択・解除できます。

3. 重複検査フィールド（必須）　：値が同じかどうかを比較するフィールドの行をクリックして選択します（もう一度クリックで解除）。
   - 複数選択した場合は、選択したすべてのフィールドの値が同じレコードが重複とみなされます。
   - 左端の番号は選択した順番です。この順に結果が並べ替えられ、結果の列もこの順に並びます。
   - 見出しのチェックボックス（またはCtrl+A）で、すべてのフィールドを選択・解除します。すべてのフィールドを選択した場合は、選択した順に関係なく、テーブルのフィールドの順になります。

4. 《フィールド選択》ボタン　：「フィールド選択」画面を開き、フィールドをまとめて選択・解除できます。

5. 出力フィールド（任意）　：「重複検査フィールド」のほかに、結果に出力するフィールドを選択します。選択方法は3と同じです。
   - 選択すると、重複しているすべてのレコードが出力されます。選択しない場合は、重複している値ごとに1行です。
   - 「重複検査フィールド」と同じフィールドを選択しても、同じ列が2つ出力されることはありません。

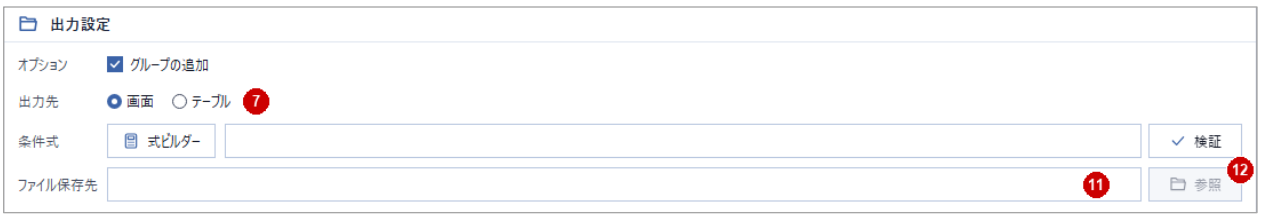
6. グループの追加　：オンにすると、結果の先頭に「グループ番号」フィールドを追加し、重複している値ごとに1、2、3…の番号を入れます。初期値はオフです。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

7. 出力先（必須）：結果の出力先を選択します。初期値は「画面」です。
   - 「画面」：結果をメイン画面に表示します。テーブルは作成されません。
   - 「テーブル」：結果を新しいテーブルとして保存し、開きます。11に保存先を入力します。
8. 《式ビルダー》ボタン：「式ビルダー」画面を開き、フィールドや関数を選んで条件式を作成できます。
9. 条件式（任意）：重複を探す対象のレコードを絞り込む条件を入力します。空欄の場合は、すべてのレコードが対象です。
   - 条件に合わないレコードは、重複を探す前に除かれます。
   - 入力中に、関数やフィールドの候補が表示されます（Ctrl+Spaceで表示、Escで閉じます）。
   - 「×」で入力内容を消去します。正しい条件式であることを確認すると、緑の「✓」が表示されます。
10. 《検証》ボタン：条件式が正しいかを確認します（Ctrl+Enter）。誤りがある場合は、メッセージが表示されます。
11. ファイル保存先（テーブル）：「テーブル」の場合に、作成するテーブルの名前を入力します。
    - テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
    - 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
    - テーブル名の長さは、64文字までです。
    - 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
    - 元のテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
    - 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。
12. 《参照》ボタン：保存画面を開き、保存先を選択できます（「テーブル」の場合）。
13. コマンド：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。「重複検査フィールド」を選択すると表示されます。
14. 《コピー》ボタン：コマンドをクリップボードにコピーします。
15. 《キャンセル》ボタン：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。
16. 《実行》ボタン：実行します（Enterキー）。正常に終了すると画面が閉じ、結果が表示されるか、作成したテーブルが開きます。

■「出力先」で「画面」を選択した場合

「ファイル保存先」と《参照》ボタンは使用できません。入力済みの保存先は残りますが、チェックされず、使用されません。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇重複の結果

オプションの設定によって、結果は次のようになります。例は「◇機能」と同じテーブルです。

■「出力フィールド」を選択しない場合

重複している値ごとに1行だけ出力されます。結果のフィールドは「重複検査フィールド」だけです。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	2
2024/05/25	C03	500	1
2024/06/15	B02	800	5
2024/06/20	A01	1000	1



結果（重複検査フィールド：商品No）

商品No
A01
B02

※テーブルの画面で列を選択して《重複》をクリックした場合も、この形で表示されます。

■「グループの追加」をオンにした場合

先頭に「グループ番号」フィールド（数値型）が追加されます。同じ値のレコードには同じ番号が入ります。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	2
2024/05/25	C03	500	1
2024/06/15	B02	800	5
2024/06/20	A01	1000	1



結果（出力フィールド：売上日、数量）

グループ番号	商品No	売上日	数量
1	A01	2024/04/10	4
1	A01	2024/05/20	2
1	A01	2024/06/20	1
2	B02	2024/04/12	3
2	B02	2024/06/15	5

■「重複検査フィールド」を複数選択した場合

選択したすべてのフィールドの値が同じレコードが、重複とみなされます。
「商品No」と「単価」を選択した例では、単価が1000の「A01」は同じ組み合わせがないため除かれます。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	2
2024/05/25	C03	500	1
2024/06/15	B02	800	5
2024/06/20	A01	1000	1



結果（重複検査フィールド：商品No、単価）

商品No	単価	売上日
A01	1200	2024/04/10
A01	1200	2024/05/20
B02	800	2024/04/12
B02	800	2024/06/15

※結果は、1つ目のフィールドの昇順、同じ値の中では2つ目のフィールドの昇順…に並びます。選択する順を変えると、列の順と並び順が変わります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「条件式」を入力した場合

条件に合うレコードの中から重複を探します。条件式「[売上日] >= `20240501`」では、「B02」が1件だけになるため、結果に含まれません。

元のテーブル

売上日	商品No	単価	数量
2024/04/10	A01	1200	4
2024/04/12	B02	800	3
2024/05/20	A01	1200	2
2024/05/25	C03	500	1
2024/06/15	B02	800	5
2024/06/20	A01	1000	1



結果（出力フィールド：売上日、数量）

商品No	売上日	数量
A01	2024/05/20	2
A01	2024/06/20	1

※重複しているレコードがない場合も、エラーにはならず、フィールドだけの（レコードが0件の）結果になります。

※結果のフィールドの並びは、「グループ番号」（オンの場合）、「重複検査フィールド」（選択した順）、「出力フィールド」（選択した順）です。フィールド名・データ型・書式は元のテーブルと同じです。

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、「重複検査フィールド」が選択されていない、保存先が空欄などの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



※条件式に誤りがある場合（フィールドがない、文字と数値を比較しているなど）は、実行時に誤りの内容を示す画面が表示されます。画面は閉じないので、条件式を修正してもう一度実行してください。

◇操作ログ

OPEN "元のテーブル"
DUPLICATES ON FIELDS [フィールド1] ･･･ **OTHER** [フィールド2] ･･･ **ADDGROUP** **IF** 条件式 **TO SCREEN**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
OPEN "元のテーブル"	重複を探すテーブルを開きます	1
ON FIELDS [フィールド1] ･･･	重複検査フィールド。選択した順に記述します	3
ON ALLFIELDS	すべてのフィールドを比較します	3
OTHER [フィールド2] ･･･	出力フィールド。選択した順に記述します	5
OTHER ALLFIELDS	すべてのフィールドを出力します	5
ADDGROUP	先頭に「グループ番号」を追加します	6
IF 条件式	重複を探す対象のレコードの条件	9
TO SCREEN	結果を画面に表示します	7
TO "保存先" OPEN	結果をテーブルに保存して開きます	11

※「テーブル」の場合は、「TO SCREEN」の代わりに「TO "保存先" OPEN」と記述されます。

※すべてのフィールドを選択した場合は、「FIELDS [ ] ･･･」の代わりに「ALLFIELDS」と記述されます。

※「OTHER」は、「出力フィールド」を選択しない場合も記述されます。

※下線部は、「出力フィールド」の選択、「グループの追加」のオン、条件式の入力をした場合に記述されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※フィールド名は「[ ]」で、テーブル名は「"」で囲んで記述します。

※「ON」「OTHER」「TO」は省略せず、上の順に記述します。

※「ALLFIELDS EXCLUDE [フィールド] ・・・」と記述すると、指定したフィールド以外のすべてのフィールドになります（ON、OTHERの両方で使用できます）。

※テーブルにないフィールドを記述すると、実行時にエラーになります。

オプションの例

オプションの記述	重複の結果
ON FIELDS [商品No] OTHER	「A01」「B02」の2行
ON FIELDS [商品No] OTHER [売上日] [数量]	「A01」の3件と「B02」の2件（「◇機能」の例）
… OTHER [売上日] [数量] ADDGROUP	先頭の「グループ番号」に「1」「2」が入ります
ON FIELDS [商品No] [単価] OTHER [売上日]	単価が「1000」の「A01」は除かれます
… IF [売上日] >= `20240501`	2024/05/01以降の「A01」の2件だけ
ON ALLFIELDS EXCLUDE [売上日] [数量] OTHER [売上日]	「商品No」「単価」で比較します（4件）

※例は「◇重複の結果」と同じテーブルです。

例

```
OPEN "売上¥売上明細"
DUPLICATES ON FIELDS [商品No] OTHER [売上日] [数量] ADDGROUP TO SCREEN
DUPLICATES ON FIELDS [商品No] [単価] OTHER ALLFIELDS TO "売上¥売上明細_重複" OPEN
DUPLICATES ON FIELDS [商品No] OTHER [売上日] IF [売上日] >= `20240401` TO SCREEN
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.